



2021年1月29日

沖縄電力株式会社

2020年度 第3四半期決算について

1. 販売の状況

当第3四半期の販売電力量は、電灯については、他事業者への契約切り替えによる需要減があったものの、夏場の気温が前年に比べ高めに推移したことなどによる需要増により、前年同期を上回りました。電力については、新型コロナウイルス感染拡大の影響や他事業者への契約切り替えなどによる需要減により、前年同期を下回りました。

この結果、電灯と電力の販売電力量合計は、前年同期に比べ2.6%減の56億35百万kWhとなりました。

2. 収支の状況

当第3四半期の収支の状況について、収入面では、電気事業において、燃料費調整制度の影響や販売電力量の減少により、売上高（営業収益）は前年同期に比べ130億81百万円減（8.1%減）の1,478億92百万円となりました。

一方、支出面では、電気事業において、燃料費や他社購入電力料が減少したことから、営業費用は前年同期に比べ124億82百万円減（8.5%減）の1,352億17百万円となりました。

この結果、営業利益は前年同期に比べ5億99百万円減（4.5%減）の126億75百万円となりました。

また、営業外損益を含めた経常利益は9億63百万円減（7.6%減）の116億97百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は7億32百万円減（7.6%減）の89億46百万円となりました。

3. 連結業績予想

2020年度通期の連結業績予想については、電気事業において、販売電力量の減少や燃料費調整制度の影響による電灯電力料の減少があること、連結子会社において、外部向け売上高の減少が見込まれることから、売上高は前回発表（2020年10月30日）より11億円減（0.6%減）の1,892億円を見込んでおります。

利益については、電気事業において、燃料費やその他電気事業営業費用などの減少があること、連結子会社において、売上原価などの減少が見込まれることから、営業利益は11億円増（11.0%増）の111億円、経常利益は5億円増（5.4%増）の98億円、親会社株主に帰属する当期純利益は3億円増（4.3%増）の73億円を見込んでおります。

別紙：決算の概要

以上

【決算の概要】

■販売電力量

(単位：百万 kWh)

	2019年度 第3四半期累計 (実績)	2020年度 第3四半期累計 (実績)	増減	増減率
電 灯	2,311	2,324	+13	+0.6%
電 力	3,477	3,311	△166	△4.8%
合 計	5,788	5,635	△153	△2.6%

■連結経営成績（5年ぶりの減収減益）

(単位：百万円)

	2019年度 第3四半期累計 (実績)	2020年度 第3四半期累計 (実績)	増減	増減率
売 上 高	160,974	147,892	△13,081	△8.1%
営 業 利 益	13,275	12,675	△599	△4.5%
経 常 利 益	12,661	11,697	△963	△7.6%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	9,678	8,946	△732	△7.6%

○連結業績予想（2020年度通期）

連結業績予想については、2020年10月30日に公表した予想数値から修正しております。

■連結業績予想（対10月公表値）

(2年連続の減収増益)

(単位：百万円)

	2020年度通期 前回発表予想数値 (10月公表)	2020年度通期 今回発表予想数値	増減 (対10月公表)	2019年度 実績
売 上 高	190,300	189,200	△1,100	204,296
営 業 利 益	10,000	11,100	+1,100	10,326
経 常 利 益	9,300	9,800	+500	9,311
親会社株主に帰属する 当期純利益	7,000	7,300	+300	6,705

上記業績予想（今回発表予想数値）には、新型コロナウイルス感染拡大の影響として、第4四半期に販売電力量の減（△20百万 kWh）を織り込んでおります。